

のみだより

特集

寺井高校生と議会との 意見交換会



CONTENTS

寺井高校生との意見交換会……P 2
定例会報告……………P 4
委員会報告(総産・教福)……P 5

委員会報告(予算決算)……P 6
討論・意見書・賛否一覽……P 7

一般質問……………P 8
議会日誌・議会日程・編集後記……P 16

寺井高校生と議会との意見交換会

12月15日（火）、今回で5回目となる寺井高校生との意見交換会を行いました。今回、初の試みとして、寺井高校3年生18名の皆さんには模擬議会議を体験していただきました。

模擬議会議では、一般質問形式で高校生が6会派に分かれて市政一般に対する質問を行い、その質問に対して、市長や教育長、議員が答弁しました。

質問では、環境問題やまちづくりなど多岐にわたる分野から、高校生らしい視点で要望や提案が行われました。

能美市のシンボル



会派
マイメロ

Q 能美市のシンボルとなるような駅と公園と飲食店を一体化させた施設をつくってはどうか。また、インスタ映えするようなイルミネーションやお花畑をつくることで、地域の活性化や誘客につながるのではないかと。

A 1日の乗降者数が約2,000人の能美根上駅を公園と飲食店が一体化した施設とするのは難しいと考える。

また、里山・里海・清流など自然が豊富な能美には、身近な場所にもインスタ映えするスポットがたくさんある。能美の美しさを知る玄関口として、能美ふるさとミュージアムで学んで、自分たちの手でインスタ映えするようなスポットを発見し、その魅力を積極的に発信していただきたい。

クマ出没に対する対策



会派
能美党

Q 能美市では、クマを捕獲しないでどこかの施設や場所で保護するという計画はあるのか。また、来年も出没するであろうクマの目撃情報があった際の対応を問う。提案として、捕獲したクマをいしかわ動物園で飼養するのはどうか。

A 市では、「石川県ツキノワグマ管理計画」に基づき、毎年、個体数調整捕獲を行っている。捕獲したクマの保護については、「鳥獣保護管理法」の趣旨との整合や、施設・財源の確保といった観点からも困難であり、いしかわ動物園での飼養も難しい。

来年に向けての対応として、人とクマの棲み分けを図るための緩衝帯整備や高性能カメラを搭載したドローンの活用により、クマ対策の強化を図っていく。

通学時の安全性確保



会派
ありが党

Q 日頃より安全性に不安を感じている寺井小学校前の健康ロードや能美根上駅前のホームランロードなどにおいて、通行する際の安全性を考慮した対策や歩行者目線での道づくりの取り組みについて問う。

A 健康ロードの街灯整備は、街灯による悪影響も懸念されるため、十分な配慮が必要である。また、車両通行禁止の仕切りには、自転車を減速させる役目があり、地域の要望により設置している。ホームランロードの歩道拡幅については、住宅などが多数建築されており、大変困難な状況である。

通学路の安全性確保として、「グリーンベルト」や「キッズゾーン」などを設置しており、今後とも関係機関と協議し、整備に努める。

根上海岸の漂着ごみ対策



会派
ダイナマイ党

Q 青春を謳歌するためや“エモい”写真に必要な海に漂着したごみが気になるが、海岸ごみに対して現在行われていることや「海岸清掃計画」はあるか。また、我々寺井高校生が課外授業で根上海岸の清掃ボランティアを行うのはどうか。
エモいとは…言葉では説明できないような「感情が動かされた状態」を意味する若者言葉

A 海岸ごみの対策について、県では「石川県海岸漂着物対策計画」に基づき、海岸漂着物等の処理や発生抑制の取り組みなどを行っている。また、市では例年7月の第1日曜日を「よりよい環境づくりの日」と定め、海岸清掃活動やパトロールの実施、不法投棄禁止看板の設置など環境の保全に積極的に取り組んでいる。
ご提案の「清掃ボランティア」は、ぜひ先生方と協議し、課外授業として実行していただきたい。

能美根上駅の充実化



会派
シナモン

Q 能美根上駅行きのみバスについて、登下校時の本数やバス停の数を増やし、電車との時間も合わせられないか。また、駅周辺に電車を待つ間、休憩や勉強ができる場所を整備できないか。

A 寺井高校と能美根上駅間のバス停については、高校・駅を含め10か所あり、町会・町内会や主要な商業施設の周辺に設置している。また、登校時の時間帯には、能美根上駅発の連携バスが3便あり、電車との乗り入れも考慮して時間帯を組んでいる。のみバスの運行については、2年に1度見直しを行っており、市民の声などもお聞きしながら、利便性の向上を図っていく。
休憩や勉強ができる場所については、これから駅の設備の充実に向けて、議員も努力していく。

能美市の住みよさランキング



会派
長邊野

Q 能美市の住みよさランキングがいつも高いのはどうしてか。また、子どもや若者に対する環境を整えることで、住みよさランキングがもっと上がるのではないかと思うが、見解を問う。

A 第10位にランクインした本年は、犯罪件数・交通事故件数の少なさや全国トップクラスの汚水処理人口普及率、1世帯当たりの延べ床面積の広さなどで高い評価を得ている。
一方で、カテゴリーの1つである「利便度」が低い水準であり、人口当たりの小売販売額や飲食店数などを増やすことにより順位が上がるため、市内の店舗にも目を向けていただきたい。
将来、地元に戻りたい、地元で就職したいと思えるようなまちづくりに全力で取り組んでいく。



高校生からの感想 意見交換会に 参加してみても



- ・議会は張り詰めたイメージの場所だったけど、今回の体験を通して、議員さんも意外と雰囲気柔らかくて、議会に対するイメージが変わりました。
- ・私たち高校生も良いまちづくりのためにもっと貢献していこうと思いました。
- ・直接、市長や教育長に意見を述べるという貴重な体験をさせていただき良かったです。



令和2年12月定例会

今定例会は、11月25日（水）から12月14日（月）までの20日間の会期で開かれました。市長から提出された議案20件、報告1件、諮問1件をすべて可決・承認・答申し、議員提出議案の2件もすべて可決しました。主な内容をピックアップして紹介します。

※金額は1万円未満を切り捨てて表示

令和2年度能美市一般会計補正予算（第6号・第7号）

新型コロナウイルス感染症対策に2億2,577万円を追加

令和2年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億3,200万円を追加し、予算の総額は291億6,900万円となりました。

新型コロナウイルス感染症対策の強化については、「安全安心対策」と「家計対策」に係る予算が追加されました。

Point 1 任意予防接種の助成額が増額、対象が拡大します

新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え、インフルエンザ予防接種の接種費用助成を増額し、対象を拡大します。また、高齢者に対する肺炎球菌予防接種の接種費用について新たに助成します。

対象予防接種	内容	対象	助成額
インフルエンザ予防接種	助成額の増額	生後6か月～中学3年生	1,000円 → 2,000円
	対象の拡大	高校生・妊婦	2,000円
高齢者の肺炎球菌予防接種	助成の新設	65歳以上で未接種の方 または予防接種を受けてから5年以上経過した方	4,000円

Point 2 ひとり親世帯に臨時特別給付金を再支給します

子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯を支援するため、児童扶養手当の受給世帯や収入が大きく減少したひとり親世帯に臨時特別給付金を再支給します。

- 給付対象者**
- ①令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けている方
 - ②公的年金給付等を受けていることにより、児童扶養手当の支給を受けていない方
 - ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった方

- 給付額**
(基本給付のみ)
- ①1世帯5万円
 - ②第2子以降1人につき3万円

Point 3 対象施設でキャッシュレス決済が利用できるように

接触機会の軽減と利用者の利便性向上を図るため、下記の対象施設にキャッシュレス決済を導入します。利用できる決済方法など、詳しくは能美市ホームページをご覧ください。

対象施設

市民窓口課 / 寺井・根上窓口センター / 税務課 / 能美ふるさとミュージアム / 根上総合文化会館 / 寺井地区公民館 / 九谷焼美術館（五彩館・浅蔵五十吉記念館・体験館）



委員会審査報告

市長提出議案、請願については、

3つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです。

<p>総務 産業</p> <p>【委員長】 田中策次郎</p> <p>【副委員長】 嵐 昭夫</p> <p>【委員】 杉田 隆一 倉元 正順 開道 昌信 山本 悟 佐伯富美子 山下 毅</p>	<p>教育 福祉</p> <p>【委員長】 仙台 謙二</p> <p>【副委員長】 卯野 修二</p> <p>【委員】 近藤 啓子 東 正幸 米田 敏勝</p>	<p>予算 決算</p> <p>【委員長】 開道 昌信</p> <p>【副委員長】 山下 毅</p> <p>【委員】 議長・委員長・副委員長を除く全議員</p>
---	---	---

総務 産業

能美市火災予防条例の一部を改正する条例

対象火気省令の改正により、全出力50kwを超える急速充電設備の需要が増加したことから、全出力の上限を200kwまで拡大し、火災予防上必要な措置の見直しを行うもの

Q 「屋外に設ける場合にあつては、建築物から3メートル以上の距離を保つこと」とあるが、その意味合いは

A 急速充電設備の出力が高出力になると、火災になる可能性が高くなり、万が一、急速充電設備から出火した場合でも、建物に燃え移らないように基準を設定した。

Q 既存の急速充電設備や各家庭での充電についてはどのように規制されるのか

A 従来から設置してある急速充電設備については、従前の例によるため、届出等の必要はない。各家庭における充電については、規制されていないため、従来のまま使用可能である。

教育 福祉

能美市立保育園条例の一部を改正する条例

認定こども園能美市立福島保育園の民営化に伴い、令和3年4月より幼保連携型認定こども園「福島こども園」へ移管するため、条例から削除するもの

Q 保護者の費用負担について、当面の間は増えることがないことであるが、今後はどうなるのか

A 保護者会の意見を取り入れながら、社会福祉法人めばえ保育園と保護者会で協議していく。

能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

個人所得課税の見直しに伴い、国民健康保険税の負担水準に関して意図せざる影響や不利益が生じないよう軽減措置の改正を行うもの

Q 軽減対象者が変わらないように算定式を補正するのか

A 算定式を改めることで見直し前と同様の水準で軽減判定が行われる。

「使い道」を慎重に審査

今定例会では、市長から提出された令和2年度補正予算に関する議案(7件)について審査が行われました。

議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会に2つの分科会を設け、集中的に審査を行いました。

最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。

◆令和2年度能美市一般会計補正予算(第6号)

遠距離通学対策

スクールバスの運行台数と運行時期は

運行台数は、辰口中央小学校、宮竹小学校、和気小学校それぞれ1台の合計3台である。

運行時期は、宮竹小学校と和気小学校は12月1日から3月12日まで、辰口中央小学校は12月1日から2月26日までである。

自治公民館施設整備事業

事業に対する補助率と予算が不足する場合の対応は

補助率は10分の9で、上限額は18万円となる。予算が不足する場合は、随時補正予算等での対応を検討していきたい。

◆令和2年度能美市一般会計補正予算(第7号)

ひとり親世帯臨時特別給付金事業

支給対象となる基準日は

12月11日時点で、既に6月の基本給付の支給を受けている方が対象となる。

「収入が大きく減少した場合に支給対象となる」とのことであるが、明確な基準はあるのか

明確な基準はなく、本人の申請に基づき、収入の減少が確認できれば支給対象となる。

支給されるのはいつ頃か

12月25日に振り込む予定をしている。

事業内容についてはP.4をご覧ください

◆令和2年度能美市介護保険特別会計補正予算(第3号)

システム改修の内容を問う

介護報酬の改定、要介護認定を受けた人が総合事業を利用できるようにするという制度改正による対応、要介護認定の有効期間の上限が48か月に延長することによる対応、税制改正への対応、認定ソフトのバージョンアップを行うものである。

◆令和2年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第3号)

PCR検査機器の導入に伴い、能美市立病院での検査費用はいくらぐらい安くなるのか

今後、市立病院が保有する機器で検査する場合は、4、500円下がる想定で検討している。

討論

—こんな理由で賛成・反対しました—

12月14日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。概要は次のとおりです。

議案第94号 能美市立保育園条例の一部を改正する条例

幼保連携型認定こども園「福島こども園」へと民営化することを前提に、現在の福島保育園を令和3年3月31日をもって廃止するものである。

政府の保育政策として、保育園の補助制度を交付税措置に変えたこと、また、建設費や運営費への国の補助を民間有利にし、措置制度から認定こども園の制度に移行させ、民間へと政策誘導していることが問題であり、本来、保育や教育、福祉の向上は行政の責任で行うべき事業である。

子どもたちの成長や発達に必要な「遊び」を基本とする能美市の保育制度は素晴らしいものがある。保護者からは「教育的要素を」の声もあるが、保育園事業への予算配分を行えば、保育内容の充実を更に図ることも可能である。

したがって、公立の認定こども園を廃止し、民営化することには賛成できない。

反対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛成

卯野 修三
議員

市内の方を対象にした、幼保連携型認定こども園についてのアンケートの中で、教育的な要素が欲しいという多様な意見があったこと。また、現状として近隣の幼稚園をあえて選んでいる子どもや家庭もある中で、そのような多様なニーズに応えていくのも行政の行うべき課題であり、市が今後もこのような幼保連携型認定こども園を推進していくことに賛成する。

「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」の採択を求める請願書

日米地位協定の抜本の見直しを全国知事会が提言していることは、かつてなかったことであり、国民の生命・財産・領土領海を守る立場から、国に対し、意見を述べていることは感慨深いものがある。

日米地位協定は米軍に特権を許し、米軍はやりたい放題である。米軍機の配備は、一方的な通知で、いつでも、どこでも可能で、米軍の犯罪は日本の裁判では裁かれない。特に、米軍基地の7割が集中する沖縄では、ここ8年間で822件の米兵による犯罪が行われ、強盗、殺人等の凶悪事件も頻発している。世界で断然トップの米軍駐留経費は、「思いやり予算」という法的根拠のない費用負担まで求められている。

今こそ、米軍の特権を見直し、日本の正当な権利を認める「日米地位協定の抜本改定」が必要と考え、賛成する。

賛成

佐伯 富美子
議員
(日本共産党)

意見書

- 「小・中学校における少人数学級の実現と教育予算の拡充を求める意見書」を可決
- 「防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書」を可決

賛否が分かれた議案

(○：賛成、●：反対) ※議長は採決を行いません

議案名	山下 毅	卯野 修三	佐伯 富美子	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中大 佐久	田中策 次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美市立保育園条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
令和2年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。





杉田 隆一 議員

今後の市の課題と次期市長選

Q 1期目の実績を踏まえ、今後の市の課題について、どのようなものがあるかと認識しているか。また、その課題に対して対応する新しい施策や構想は

A 市の課題は、新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止と経済活動再開の両立、少子化高齢化・人口減少、自然災害・鳥獣被害、公共施設の老朽化などが挙げられる。

新型コロナウイルス対策に関しては、これまでにも3本の柱からなる強化策に取り組んできた。今後とも、独自施策の立案と具現化にスピード感を持って取り組んでいく。

少子化高齢化・人口減少に関しては、施策・事業の7本柱の全てを移住・定住の促進につなげて、引き続き取り組んでいく。

新しい施策として、SDGs未達成都市に選定されたことを生かし、市民力・地域力の一層の強化を図り、新国富指標を設け、PDCAを回すことで、誰もが安全・

安心、快適に暮らす地域共生社会、持続可能な能美づくりの実現を目指す。

また、幅広い分野におけるDXや5Gなどのデジタル技術の活用や、主要施設を最大限に活用したまちづくりを強めていき、産業振興や交流人口拡大を通して、税収増や移住・定住の促進を図り、財源を確保することで老朽化する公施設の改善などにつなげていきたい。

Q 施策や構想を実現するための2期目への出馬について問う

A 就任以来、政治信条の市民ファースト、現地現場主義を貫き、初心を忘れることなく全身全霊をささげてきた。

市制誕生15周年を迎え、成果も見え始めた一方で、新型コロナウイルスの対策や、来る千載一遇のチャンスを生かす施策・事業の具現化には、政治空白なく継続して取り組んでいくことも重要である。

諸施策の推進を行い、「市民が幸せに暮らし続けられる持続可能なまちづくり」を築くためにも、市民の理解と支援が得られるものであるれば、引き続き、初心を忘れることなく、市政のかじ取り役として、市勢の発展に向けて誠心誠意努めていきたい。

一般質問



倉元 正順 議員

市長選挙への立候補の意思

Q 1月24日告示の能美市長選挙への立候補の意思を問う

A 市民の理解と支援を得られるものであれば、引き続き市政のかじ取り役として、市勢の発展に努めたい。

クマの捕獲と捕獲隊員の確保

Q 人里や市街地へのクマ出没による人への被害対策と捕獲隊員の確保について問う

A 生物の多様性の確保等の観点から、クマの捕獲頭数が設定されている。また、警察官の命令があれば、麻酔銃や猟銃の使用による緊急捕獲が実施される。捕獲したクマの放獣については、放獣地の確保や地権者の合意取付けが困難であるなど、必ずしも最適な措置ではないと考えている。

捕獲隊員確保のために、狩猟免許の手数料補助など負担軽減に努めてきたが、今後はさらに支援の拡充も検討していきたい。

固定資産税の土地評価

Q 土地の課税評価は現地確認で行っているのか。また、課税の適正化を図る目的で利用されている航空写真は、納税者が求めた場合にデータを提供してもらえるのかを問う

A 固定資産評価基準に基づき評価するため、職員による現地確認を行っている。また、航空写真は課税上の内部資料であり、個人情報などが含まれているため提供はできない。

消防水利の撤去・設置

Q 消火栓の設置基準と維持管理はどのようになっているのか

A 消火栓は、水道法の定めにより設置しており、地上式と地下式がある。維持管理については、上下水道課が水道施設と一体となつて管理し、消防本部が年一回以上定期調査している。

Q 消防水利撤去事業実施要綱における経費負担について、見直しをする考えはないか

A 消防水利は安全・安心のまちづくりのため大切な財産であることから、財政状況を勘案しながら、時代の情勢に合った実施要綱を検討していきたい。



山下 毅 議員
市民の声

市職員の働き方改革の取り組み

Q 働き方改革について市の取り組み状況と効果について問う

A 働き方改革関連法の施行に伴い、平成31年4月から、時間外勤務命令の上限時間を月45時間以下及び年360時間以下とすることを規則で定めた。具体的な取り組みとして、月45時間を超えた部署は、所属長が超過理由書を総務課長に提出し、事実確認をしている。また、月30時間を超える月が複数続く場合は、所属長に勤務状況を確認し、今後の改善策を求めている。

現状の取り組みのほか、適正な事務の執行を図るため、事務処理の効率化・平準化、業務マニュアルの推進等の日常業務の見直しや労働時間の把握のため、ICカードによる出勤管理システムを導入し、試験運用を開始している。

Q 部下から信頼される管理職の育成方針について、市長の考えを問う

A 管理職員は部下を育成することが大変重要であり、市民ニーズが多様化・複雑化するなか、主体的に課題解決に取り組み職員の育成を行うことが肝要である。

また、職員が円滑に職務を遂行できる環境づくり、仕事の質と量に気を配り、一人ひとりの能力や意欲を引き出せるよう努めることも大切であり、さらに職場の環境づくりが人間関係のみならず職員の士気につながり、業務の成果にも大きく影響を与えるものと認識している。そのようななか、管理職員を対象に外部研修や内部研修を随時開催しており、次年度以降も実施を考えている。

市政を進める上で重要なことは、常に市民目線で取り組んでいくことであり、この考え方が部下から信頼される管理職像である。管理職員をはじめ一般職員に対しても、市民ファースト、現地現場を確認することを促すことで、様々な課題に挑戦し、持続可能な能美づくりに努めていく。



▲出勤管理システム

一般質問



野野 修三 議員
勇 気

土砂災害対策

Q 土砂災害警戒区域は何か所あり、これまでに土砂災害対策工事を何か所で実施したか

A 警戒区域は市内105か所あり、うち98か所が特別警戒区域となっている。地域別では、辰口地区には警戒区域が98か所、寺井地区には7か所ある。

対策工事については、これまで4か所において、砂防堰堤や待ち受け擁壁を設置している。

Q 急傾斜地崩壊対策事業の採択要件と地元負担率の低減は

A 崩壊により被害を受ける家屋等の戸数が10件以上の場合は、県事業主体による国の補助金対象となり、5件以上10件未満の場合は、市事業主体による県の補助金対象となる。

また、市では本年3月に地元受益者負担率を従来の2分の1から、4分の1に減ずる条例施行規則を改正したが、さらなる低減については今後検討していきたい。

流域治水

Q 流域治水の現状と今後の進め方を問う

A 本年9月、流域治水協議会が発足し、流域治水プロジェクトを開始したところである。市内での治水対策には、国・県による河川改修や河道掘削が重要なため、継続的に働きかけていく。

また、流域治水対策の推進には、町会・町内会や事業者への周知・啓発が必要であり、全国の先進事例を調査研究し、今後とも治水対策に取り組んでいきたい。

WEB九谷茶碗まつり2020

Q 市の具体的な支援内容は

A 市では、特設サイトの開設と写真撮影、プロモーションについて支援を行っている。また、今回の取り組みを一過性で終わらせることがないよう、特設サイトで継続的に店舗をプロモーションできる仕組みを構築している。



▲WEB九谷茶碗まつり2020



東 正幸 議員

クマ対策について

Q 能美市において、今年クマの出没が多い要因と地域はどこか。また、目撃と痕跡情報件数は何件で、例年との比較を問う

A 大量出没の要因として、ブナが大凶作、ミズナラが並作、コナラが凶作であり、奥山にクマの餌となる果実が不足している。出没する地域は、特に辰口地区の一部の中山間地域で顕著となっている。

今年が目撃情報件数は、11月30日現在で96件、3か年平均との比較で約10倍となっている。また、痕跡情報件数は21件で、3か年平均の約13倍となっている。

Q 市内における各学校の児童生徒に対する安全対策や学習の対応を問う

A 危険度に応じて地域や町内ごとに保護者への送迎依頼や、集団・グループによる登下校を徹底し、児童生徒が一人にならない対応を取っている。中学校の部活

動では、暗くならないうちに帰宅できるよう措置を取った。また、登下校時刻にパトロールを行い、多くの大人が児童生徒を見守る体制づくりに取り組んでいる。さらに、対象小学校の児童と中学校の徒歩通学生徒全員にセーフティベルの追加配布を行った。

クマに関する学習については、県作成のパンフレットを中心に教育委員会で学習資料を作成し、安全指導を全学校の全クラスで取り組んでいる。

Q 今後のクマ対策について、その安全対策をどのように講じていくのか

A 住居集合地域等にある市有林の緩衝帯整備を拡大し、併せて民有林の緩衝帯整備も実施することによって、クマ出没の抑制対策をさらに進めていきたい。また、出没時には、市消防本部に配備した高性能ドローンを活用していきたい。

普及啓発として、専門家によるクマ対策セミナーや市職員による出前講座を開催するなど、地域や住民が協力し合い、地域ぐるみで自己防衛に取り組みるよう対策を講じていく。



一般質問



田中 大佐久 議員

能美市の道路行政全般について

Q 道路は、どこにある道路なのか、誰が主に使う道路なのかによって用途が異なる。次代を見据えて人と道路の在り方について検討し、能美市にふさわしい道路を考えてはどうか、見解を問う

A これまでの新たな道路整備に加え、地元関係者や学校、警察などとの意見や協議を踏まえ、道路利用者の目線に立った道路ストックの再構築も重要であると考

えている。昨年の滋賀県大津市の交差点で散歩中の保育園児が巻き込まれる痛ましい死傷事故を受け、市内15保育園の散歩ルートのうち、緑が丘、徳久町の交差点部において、支柱設置による歩行者の防護対策や自動車の減速を促すため、車道路面に破線標示を行っている。

また、粟生小学校や浜小学校の通学路など、歩道がなく自動車交通量が多い市道で、グリーンベルトを新設し、線としての安全確保を図っている。

Q 都市計画道路及び都市計画マスタープランの見直しを行う今後の計画について見解を問う

A 都市計画マスタープランについては、現在、地元の意見を聞きながら計画案を策定している。また、時代背景を踏まえ、都市計画道路を含め、まちづくりの将来像の在り方について、随時見直しが必要であると考えている。

Q 平成25年に行われた小松能美都市計画区域の見直しにより、集落周辺に住宅等が建設されることになったが、何棟の住宅等が建設されたのか

A 市街化区域と市街化調整区域を区分するいわゆる線引き制度廃止後の8年間の状況では、285件の申請があり、うち約8割の224件が住宅の建築となっている。また、アパートが16軒、コンビニ等の店舗が5軒建築されるなど、定住人口の増加と地域の活性化に大きく寄与しているものと考えている。



▲能美東西連絡道路（寺井まちなか）のイメージ図



山本 悟 議員
大 志

除雪の体制について

Q 除雪受託企業の確保が難しいと思われるなか、除雪対象路線の延長、受託企業数及び受託企業確保の取り組みについて問う

A 今年度の除雪対象路線の延長は、昨年度同様35.6kmである。除雪作業の受託企業数については、平成21年度には54社あったが、土木工事量の減少などにより平成29年度には47社となった。平成30年度からは、造園業など他の業種からも受託を募り、本年度は52社を確保している。

Q オペレーターの人数や年齢構成とその確保について市としてどのように取り組んでいるか。また、オペレーターに関してどのような課題があるか問う

A 除雪作業に従事しているオペレーターは本年11月現在176人であり、55歳以上が35.8%で平均年齢は50.4歳である。現在30歳未満はわずか4名と、今後オペレーター不足が懸念されるこ

とから、若手オペレーターの増員を図るため、平成30年に除雪機械の免許取得に対する助成制度を創設した。

Q 老朽化した消雪施設の現状及び今後の改修に関する事業計画を問う

A 消雪施設は昭和46年から整備され、その後、昭和55年から昭和62年頃にかけて、機械除雪が困難な道路幅員が狭く人家が連なつた道路を中心に整備された。現在の総延長は41.1kmであり、8.8kmは特に老朽化が著しい。改修状況については、優先度を確認し有利な補助事業を活用しながら、耐腐食性が高い製品を積極的に採用し、工事を進めている。今後は、中でも老朽化が激しい根上地区の延長5.4kmの内、根上中学校周辺のほか、2路線の改修事業を進めていきたい。



▲更新された消雪施設

一般質問



米田 敏勝 議員
保守清流

化学薬品や化学製品の火災

Q 市内各企業が扱っている化学薬品や化学製品の種類や量を把握しているか。また、保管状況の管理指導はどのようにされているか

A 消防本部が把握している化学薬品を扱う企業は14社で、消防法令関係に該当する劇物・毒物を128種類取り扱っており、12月1日現在で、44種類、合計約30万ℓの届出がある。また、危険物については、55種類の届出があり、数量の合計は、液体が約270万ℓ、固体が約120万kgの届出となっている。

化学製品については、指定可燃物に該当する化学製品は33種類あり、合計約1,400万kgとなっている。

これまで立入検査等で種類や数量の把握及び管理指導を行っているが、さらに管理指導に力を入れ、これまで以上に安全に保管・管理できるよう努めていきたい。

Q 効率的な消防体制化のため、特殊車両など装備品を共有できる広域消防の組織化について、見解を問う

A 平成18年6月の消防組織法の一部改正により、石川県において「石川県消防広域化推進計画」が策定されている。

災害や事故の大規模化・多様化、消防本部の管轄人口減少が見込まれるなか、効率的な消防署所の配置や緊急車両の配備を見直すことで、組織管理の強化、財政運営の効率化が考えられる。

一方で、消防署所の廃止・統合、消防車両の削減により、現場到着時間の遅れが生じ、一分一秒を争う災害現場において、住民の生命・財産に影響を及ぼすことが危惧される。

また、機材の統一化による新たな財政負担、消防団相互の連携や、地域に密着した消防団という位置づけの希薄化も懸念される。

広域消防の組織化を進めていくことは、市民の安全・安心と財政の両方を視野に入れた中で、慎重に検証を重ねる必要がある。





佐伯 富美子 議員
日本共産党

大人のひきこもり問題

Q 大人のひきこもりの原因ともなる不登校児童生徒の人数は

A 令和元年度における不登校の児童生徒数は、小学生16人、中学生94人である。

Q 大人のひきこもりに対する相談体制の実態と支援について

A 市内3か所のあんしん相談センターで、ひきこもりの相談をはじめ、障害、生活困窮、介護等の総合相談窓口として対応している。ひきこもりに関する新規の相談は、令和元年度から令和2年11月までに18件寄せられている。相談者の多くは家族や知人であり、家庭訪問や面談で支援している。今後も、より相談しやすい体制づくりや寄り添う伴走的支援を強化していきたい。

腎臓透析患者の支援

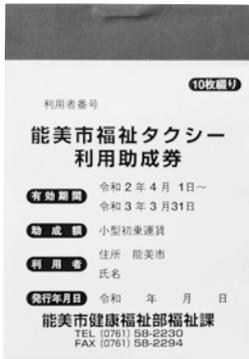
Q 腎不全の患者は基本週3回、4時間の透析治療が必要であ

る。福祉タクシー助成券が年間40枚交付されるが、透析患者に対してはさらに拡充すべきでないか

A 福祉タクシー助成券は、身体障害者手帳1級・2級の所持者等に交付している。令和元年度の交付人数は201人、そのうち人工透析を受けている方への交付は8人で、実際に利用した方は3人となっている。この助成事業を知らない人もいると思われるので、医療機関等にポスターを掲示するなど周知をしていくとともに、今後透析を受けている方の利便性について検討したい。

Q 透析患者が新型コロナウイルスに感染した場合の対応を問う

A 患者を隔離した上で、透析をしながら感染治療を行っている。県内4つに置かれている医療圏域ごとに、入院しながら血液透析を受けられる医療機関を指定しており、対処法、透析機会とも確保されている。なお、医療機関は公表されていない。



▲能美市福祉タクシー利用助成券

一般質問



嵐 昭夫 議員
市 民

若者支援と移住・定住

Q 定住促進につながる結婚新生活支援事業について問う

A 結婚新生活支援事業は、経済的な理由で結婚を足踏みしているカップルを支援する国の制度で、住宅の取得費用やアパートなどの賃借費用、引っ越し費用等を助成するものである。

認定要件も緩和されると聞いており、移住・定住全体の底上げを図るため、今後、事業の実施を前向きに検討していきたい。

Q ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた移住・定住施策について、どのような対策を講じていくのか

A 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて地方への関心が高まっており、市では夜間や休日でも対応できるオンラインによる移住相談受付などを進めている。

新しいライフスタイルに対応することで、将来を見据えた移住・定住施策を推進していきたい。

中学校における武道の普及啓発

Q 指導者への研修を踏まえ、生徒にどのような指導をしているのか。また、武道発展のための普及啓発活動について問う

A 中学校体育科の免許を取得する過程で、柔道指導の講義を受けており、また、経験年数に応じた研修や、年1回各学校の体育科担当者を対象に開かれる研修などを必要に応じて受講している。指導内容については、安全面に対する配慮に重点を置き、受け身や基本的な技のほか、礼儀作法も重視している。

普及啓発活動として、能美市では毎年、全国銃剣道能美大会を開催し、児童生徒には、全国からの一流選手の競技を目の当たりにすることで、人格形成にも大きな役割を果たしていると考えられる。今後とも市体育協会をはじめとした関係団体とも連携しながら、普及啓発活動を行っていきたい。



▲婚姻届・出生届記念撮影用バックボード





南山 修一 議員

植物園誘致計画の立案

Q 市内にある金沢大学所有地、もしくは辰口丘陵公園内に植物園を誘致するための計画を立案できないか

A 植物園は、博物館法で定義された施設で、自然環境を学ぶ教育機関としての役割を担っている。

能美市には、能美ふるさとミュージアム、いしかわ動物園など豊かな自然を学ぶ機会が多く、相互に存在意義を共有できる部分も多々ある。今後、新たな植物園の建設が計画された際には、誘致の可能性を調査研究したい。

旧辰口フラワーハウス跡地

Q 旧辰口フラワーハウス跡地の農振除外の可能性と、これまで跡地利活用を市でどのように取り組んできたのかを問う

A 市では、これまで必要な民有地の取得や現地測量、境界確定調査を実施してきた。令和元年

度には跡地利活用調査を実施し、管理運営形態等を検討している。今後は、農振農用地区域からの除外や都市計画法の用途地域指定を円滑に進めることで土地利用の幅を広げていき、利用調査の結果を踏まえ、地元の意見も聞きながら地域の賑わいが創出できる施設として整備していきたい。

Q 旧辰口フラワーハウス跡地周辺のさらなる発展を促すため、「辰口温泉」という新しい町名にしてはどうか

A 住居表示に関する法律で、住民要望の把握や地名に関する専門的な意見聴取を含めた厳格な手続きが必要であり、町名の変更は一朝一夕になし得ないが、整備を予定している施設の名称に「辰口温泉」を加えることも一案ではないかと考える。



▲旧辰口フラワーハウス

一般質問



田中 策次郎 議員 絆

公民館の感染症対策支援

Q 公民館では高齢者福祉に必要な活動が行われている。地域の集まりが少なくなればコミュニティの崩壊にもつながる。新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナ感染症対策として、公民館施設設備の強化を進め、今後のコロナ禍における公民館活動への支援ができないか

A 公民館は、地域コミュニティの拠点となる極めて重要な施設であり、コロナ禍における今後の公民館の活用方法や感染防止対策をいかに施していくかが大きな課題である。

今定例会の補正予算で、自治公民館の施設整備に対する補助制度の拡充を図り、空気清浄機の購入費や自動水栓の設置費を新たに追加し、感染症対策補助として総額で500万円を計上した。

町会・町内会の活動支援策として、総会等の会議や行事で使用されるアクリル板や消毒ポンプスタンドなど備品購入の補助メニューで感染防止対策を支援したい。

家族避難行動計画の推進

Q コロナ禍での防災対策として、家族単位や市民一人ひとりが避難行動計画を作る専門的な手段を行政として提供する必要がある。今後の対応を問う

A 市民一人ひとりが、災害時の行動を事前に考え話し合い、その内容を避難行動計画として関係者や家族と共有しておくことは、災害時に自らの命を守るための行動に大変有効である。

今後の計画の中で、地域や家族単位での避難行動計画作成をテーマとした講座について、感染状況等を注視しながら開催を検討している。具体的には、台風や大雨に関するマイ・タイムラインの作成について、国土交通省の協力をいただき、楽しく、分かりやすく学ぶという内容である。

今後、色々な形で家族の避難行動計画を推進していきたい。



▲能美市防災ガイドブック



開道 昌信 議員

ICT技術の教育現場での活用

Q 新型コロナの流行により、GIGAスクール構想が前倒しされ、令和2年度中の本格実現を目指すこととなったが、進捗状況、課題、対処方法を問う

A ハード面では、児童生徒及び教員への1人1台のパソコン整備、充電保管庫の設置、各学校での通信ネットワークの整備が年内に完了する予定である。ソフト面では、授業支援ソフトの導入やAードリル等のソフトの選定も計画どおりに進んでおり、令和3年1月から、ICTを活用した授業が行える環境が整う予定である。重要な課題は、全ての教員がICT機器を効率的・効果的に活用するためのスキルの向上であるが、石川県教育委員会と連携を取りながら、民間のICT支援員の活用や能美市ICT活用授業研究会の設置など、各学校内での教員研修を充実させ、全教員がハード・ソフトの両面でレベルアップを図れるよう取り組んでいく。

Q 令和2年7月に文部科学省からこれまで中学校の携帯電話持ち込みについては原則禁止としていたものを「条件付きで容認する」との方針変更の通知が出された。これに対する見解、対処を問う

A 今回の方針変更は、生徒の登下校時の安全・安心をより一層確保するためということが理由となっている。方針転換には一定の必要性を認めるが、携帯電話の学校持ち込みによる破損や紛失などのトラブル、不適切な使用などのデメリットの面も併せて考えると、中学校の携帯電話持ち込みは原則禁止。緊急時の連絡手段や、GPSによる安全確保などを理由にした「保護者からの申し出があるなど、やむを得ない事情がある場合に制限をつけて認める」という、これまで行ってきた対応を今後も継続すべきであると考えている。

GIGA スクール構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」
多様な学びの場を一人一人の持ち手として、子供が一人一人に合った個別最適化された、高質・高力な一層授業を実現できる教育ICT環境の実現へ。

文部科学省

▲文部科学省『GIGAスクール構想の実現へ』

一般質問



北村 周士 議員

若年介護者（ヤングケアラー）*

Q 市内における若年介護者（ヤングケアラー）の現状は

A 市内児童生徒のヤングケアラーの存在は正確に把握していない。今回実施される国の調査については、関係部署と連携を図りながら対応していきたい。

*若年介護者（ヤングケアラー）：病気や障がいのある家族を介護する18歳未満の子どものことを指す。

教育現場における新型コロナ対策

Q リモート学習の可能性は

A 10月以降、家庭と学校とのオンライン接続訓練を実施した。今後必要に応じて、保護者の協力を得ながら、家庭と学校とのリモート学習への対応を進めていきたい。

Q 30人学級についての思いは

A 丁寧な指導、豊かな学びの保障、新型コロナの感染防止などの面からも有効であると認識している。しかしながら、他市と比

較して児童生徒数の減少も緩やかであり、空き教室の不足という施設上の課題もある。併せて、新たな教員数の確保も課題であり、国による法整備、教職員定数改善、教育予算の拡充が最優先である。

今年の漢字

Q 今年一年、市長の任期四年を漢字で振り返ると

A 人と人の絆やつながり、結びつき大切さを思い知る一年だった。市民力の結束が高まり、「のみふる」がオーブンし悠久の歴史と現代が結ばれ、市内の観光地を結ぶ玄関口となるなどしたこともあり「結」の一字がふさわしいと思う。

また、この四年間は市民ファースト、現地現場主義を掲げ、市内を東奔西走し「持続可能な能美づくり」の実現に向けて取り組んできたことから、「奔走」の二文字がふさわしいと思っている。





近藤 啓子 議員
日本共産党

マイナンバーカード

Q 来年3月からマイナンバーカードを健康保険証として使えるようになる。病院での混乱が予測されるが、市民への周知をどのように図るのか

A 従来の被保険者証の提示による資格確認と、マイナンバーカードでの資格確認との両方の手段を並行していくことになるが、マイナンバーカードでの資格確認を進めるとかえって混乱を招くことが想定される。当面はマイナンバーカードの取得率を向上させる施策を継続しながら、その資格確認のメリットについて周知していく。

能美根上駅のバリアフリー化

Q 能美根上駅の電車と駅ホームの隙間と段差を解消し、バリアフリー化を進めてはどうか

A プラットホームがある場所はカーブ区間であり、隙間や段差の解消は非常に難しい。一方、JR西日本では乗降の介助などを行うサービスやサポートダイヤルがあり、利用者の利便性向上に向け、周知していきたい。

少人数学級

Q 市内小中学校で35人以下の学級とする場合に必要な教室数、教師及びその人件費を問う。また、実現する上での課題は何か

A 必要となる教室数は6教室で、最低限必要な教員の増員は各担任の6人となる。人件費は約3,792万円となる。課題としては、空き教室が足りない学校があることや教員の確保、施設の改修費や人件費など財政上の問題があると考えている。



▲感染症対策の面からも少人数学級が求められる

一般質問



仙台 謙三 議員
公明党

COCOA登録の推進

Q 「COCOA」をより多くの方々に登録していただけるよう、さらなる周知や啓蒙活動を行うべきと考えるが、見解を問う

A 市ホームページや広報のみに加え、市フェイスブックや成人式などのイベントにおいて、特定多数の方と接触する機会が多い方へ普及を勧めていきたい。

のみバス

Q 4月から新ルート・ダイヤで運行しているが、利用者からどのような意見があるか。また、次回の改正には、今までにない取り組みで計画を行え

A 利用者からは「便数が増えて利用しやすい」「乗車時間を短くしてほしい」などのご意見をいただいている。

また、今年度内に新たに導入予定のバスロケーションシステムでは、バス停ごとの発着時刻と利用者数の把握が可能となっております。

見直し時のデータとして有効に活用していきたい。

ハマナス群落

Q ハマナス群落及び周辺における今後の環境整備の計画は。イベントの告知やボランティア募集の呼びかけと共に、ハマナス群落のアピールを行え

A 環境整備については、遊歩道、ベンチ、案内看板などの修復工事を進め、説明板には二次元コードを活用し、多言語対応で国内外に情報と魅力を発信する。また、ボランティアの募集は、SNSなどを活用していく。

今後、ハマナス群生地を保護・継承する自治体と保護活動および活用方法の取り組みについて、情報交換を行っていきたい。



▲ハマナス群落

こんな活動をしています

総務産業・・・総務産業常任委員会
教育福祉・・・教育福祉常任委員会
予算決算・・・予算決算常任委員会

議会運営・・・議会運営委員会
全員協議・・・議会全員協議会
広報特別・・・広報特別委員会

基本条例・・・議会基本条例検証調査特別委員会
活性化・・・議会の活性化に関する検討会

10月

- 1日 活性化(視察:小松市議会、白山市議会)
- 5日 広報特別(議会だより68号の編集)
- 6日 総務産業(各課報告)
- 7日 教育福祉(各課報告)
基本条例(逐条解説)
- 9日 広報特別(議会だより68号の再編集)
- 22日 議員協議会(タブレット端末デモ)
活性化(タブレット端末導入)

11月

- 10日 総務産業(各課報告)
活性化(タブレット端末導入)
- 11日 教育福祉(各課報告)
基本条例(条例検証)
- 18日 議会運営(第4回定例会会期日程)
全員協議(//)
- 25日 議会運営(議事日程)
全員協議(//)
本会議(開会、議案上程、提案理由説明)
広報特別(意見交換会)
- 30日 活性化(タブレット端末導入)

12月

- 2日 議会運営(議事日程)
全員協議(//)
本会議(一般質問)
- 3日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)
- 4日 予算決算常任委員会全体会
広報特別(意見交換会)
- 7日 総務産業、予算決算分科会(付託案件の審査)
- 8日 教育福祉、予算決算分科会(//)
- 11日 総務産業、教育福祉、予算決算分科会
予算決算常任委員会全体会
議会運営(第1回定例会会期日程他)
広報特別(意見交換会)
- 14日 議会運営(議事日程)
全員協議(//)
本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
広報特別(意見交換会、議会だより69号の
レイアウト案)
- 15日 寺井高校生との意見交換会
- 17日 視察受入(川北町:企業誘致、空き家対策)
- 18日 基本条例(意見集約)

本会議の録画映像を
HPで配信しています

能美市議会映像配信

検索

令和3年

3月定例会のお知らせ

(会期:3月4日~3月25日)

新型コロナウイルスの感染状況により
傍聴を自粛いただく場合がございます

- 3月 4日(木) 提案理由説明
- 3月16日(火) 一般質問
- 3月17日(水) 一般質問
- 3月25日(木) 委員長報告
討論、採決

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町1110 番地
能美市議会事務局

T E L : (0761)58-2240

F A X : (0761)58-2295

E-mail : gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

12月議会が14日に終わりましたが、翌日には表紙にもありますように、寺井高校生との意見交換会(模擬議会)が開催されました。ユニークなネーミングの会派が出現!本番さながらの議会運営で私たち議員もかなり緊張しました。

高校生の皆さんは、私の初登壇の時より、落ち着き、堂々として立派でした。この中から、将来能美市を担う人材が育つのではという予感が広がりました。18名の高校生議員の皆さん!ご苦労様でした。(佐伯 富美子)

広報特別委員会 委員長:北村 周士 副委員長:山下 毅 委員:嵐 昭夫、開道 昌信、佐伯富美子、卯野 修三